

畜産業で働く!
Work Style

Work Style





CONTENTS

Work Style VOL.01	牛乳をつくる	04
	将来は、自分で人工授精して生まれた牛を 真心込めて育てたい！	株式会社サウザンドリーフ／坂田 彩野
Work Style VOL.02	牛肉をつくる	06
	夢は下北の素材を生かした おいしいブランド牛の育成！	美付ファーム／千葉 晋
Work Style VOL.03	豚肉をつくる	08
	命の大切さを毎日実感！ 養豚は素晴らしい仕事です	株式会社川賢／織川 恵美、野田頭 星吾
Work Style VOL.04	卵をつくる	10
	みんなに自慢できる 安全、安心な「おいしい卵」を作る！	株式会社オリエンタルファーム／大道 拓巳
Work Style VOL.05	鶏肉をつくる	12
	生産者、農場担当者、獣医師が、 心をひとつに、健康な鶏を育てる！	プライフーズ株式会社／岡本 尚子、水島 亮
	畜産Q&A	14
	畜産業で働くまでのステップ	15

はじめに

青森県では、農業産出額のうち、畜産関係が約3割を占め、米やリンゴとともにとても重要な産業となっています。畜産業は、自然や動物と触れ合いながら働ける仕事の一つであり、人が生きていくうえで、なくてはならない食物をつくる、とても社会的な意義ややりがいのある産業です。

一般的に畜産は、家畜を飼い、肉や乳製品、卵などを生産・販売することだと知ってはいるけれども、仕事としてどんなことをしているのか、どんな人達が働いているのか、具体的にイメージできる人は少ないのではないのでしょうか。

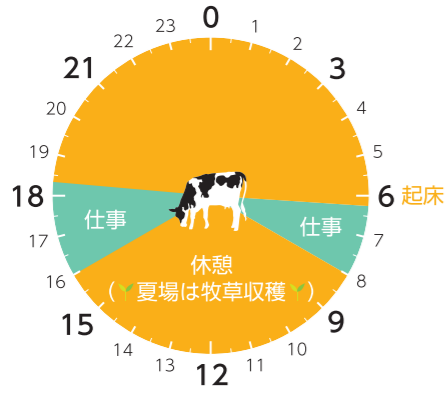
また、昔は、親から子へ、家業を継いで働く「就農」が主でしたが、今では、畜産企業が増えて、「就職」、いわゆるサラリーマンとして働いている人も多く、畜産業で働くと言っても多様な働き方があります。

そこで、本冊子では、畜産業についてもっとよく知ってもらうために、実際にそれぞれの現場で働いている様々な人達を紹介します。

その人達の働き方を通じて、畜産業に興味を持ってもらえれば幸いです。

夢は6次産業化！
坂田さんのある1日のお仕事

- 6:00 起床。
- 6:15 ~ 6:20 自宅から牧場へ、着替えて仕事開始。
- 6:20 ~ 7:00 朝の給餌。子牛への哺乳。
- 7:00 ~ 8:00 搾乳、ベッドメイク。
- 8:00 ~ 16:00 休憩。(夏場は牧草の収穫作業)
- 16:00 着替えて仕事再開。
- 16:00 ~ 17:00 夕方の給餌。子牛への哺乳。
- 17:00 ~ 18:20 搾乳、ベッドメイク。
- 18:20 帰宅。



◀毎日早朝に行う搾乳▶



Profile

酪農

さかた あやの
坂田 彩野 さん

青森県八戸市出身、21歳。青森県立名久井農業高等学校、青森県営農大を卒業と同時に(株)サウザンドリーフへ。ゲームが趣味。現在は農場向かいの一軒家に住む。

企業名 株式会社サウザンドリーフ

- 所在地/青森県三沢市
- 事業内容/酪農(乳用牛を飼育し、牛乳・乳製品の原料になる生乳を生産)
- 従業員数/5人
- 飼養頭数/130頭



畜産で働く! Work Style VOL.01

牛乳をつくる



将来は、自分で人工授精して生まれた牛を
真心込めて育てたい!

仕事の合間にとれる
自由時間がたまらない

牧場での仕事を終えて作業着を脱ぎマスクを外すと、坂田さんはエフボが可愛い今どき女子だ。早朝から給餌や搾乳、牛のベッドメイクを行っていることは想像もつかない。「最初は早起きが大変でした。でも慣れれば何てことはない。この仕事の朝が早いのは、新鮮なミルクを消費者に届けるため必要なことなんです」

サウザンドリーフでは、130頭の乳用牛をフルオートメーションで搾乳する近代的な牛舎と、一頭一頭手をかけて搾乳する昔ながらの

牛舎を所有。そのうち坂田さんは、昔ながらのつなぎ牛舎での作業を担当している。

毎日20頭の乳用牛と10頭の子牛にエサを与え、搾乳、ベッドメイクなどの作業、さらに牛の人工授精まで行う坂田さん。「大変じゃない？」と尋ねると「朝8時から午後4時まで自由時間、こんな仕事、ほかに無いと思いませんか？私は牧場の向かいに住んでいるので、昼寝をしたりゲームを楽しんだり。八戸まで買い物に行くことだってできるんです」という答えが返ってきた。



飼料を給餌しながら牛たちの健康をチェック

体を動かす仕事がしたいと
営農大学で畜産を学ぶ

子どもの頃から動物が好きだった。かつて祖父の家では畑を耕し、犬を飼っていたという。「だけど、私が育ったのはマンション。動物を飼うことができなかったんです」

そして、とにかく体を動かす仕事に就きたいと、母の母校でもある県立名久井農業高校へ進学。数多くの野菜作りを経験したが「何か違う」と感じたという。先生のすすめで営農大学校に入学し、酪農を学んだ。そのときの実習先が、サウザンドリーフだった。

「ここは生乳を搾るのが主な仕事。加工品にも挑戦したいと打ち明けると『やっていいよ』ということでした。だからここへの就職を決めたんです」と坂田さん。アットホームな雰囲気は夢を後押ししてくれる。

酪農で働く。そして
チーズ、ジェラート…
新たな6次産業にも挑戦!

彼女が牛舎を見回ると、安心した表情を見せる牛たち。

「酪農って、やっぱりおもしろい。牛には胃が4つあったり、(人間)だったら飽きてしまうが毎日決まった時間に、いつもと同じエサを、いつもどおりに食べるのが好きだったり、初乳の大切さなど、何か



ら何まで驚くことばかりです。酪農家によって牛の飼育方法やこだわりの全然違うし、どれだけいい牛を買って飼育しても、管理がダメだと牛はポロポロになってしまう。牛は、単純なようで実は奥が深い生き物。それがこの仕事の魅力です」

坂田さんは人工授精師の資格を取得し人工授精にも挑戦しているが、思うように受胎しないことが今の課題という。「難しいですね。でもその分やりがいがある。いつか自分で人工授精して生まれた牛を、大切に育ててみたいです」

そしてここで働くときから抱く、6次産業への夢も忘れていない。「一度モッツアレラチーズを作りました。やっぱり6次産業にも本格的にチャレンジしてみたい。牧場で食べる乳製品って、絶対美味しいと思う。既存のチーズやジェラートではなく、ここでしかできないものを作りたい!」

坂田さんの活動をあたたかく見守るサウザンドリーフのスタッフたち。誰もが彼女の成長を願っている。

地元を愛する繁殖農家、千葉さんのある1日のお仕事

- 6:00 起床。
- 6:30 ~ 7:00 自宅から牧場へ。着替えて仕事開始。
- 7:00 ~ 8:30 繁殖牛舎、発情の確認、給餌、畜舎清掃。
- 8:30 ~ 11:00 育成牛舎で子牛への哺乳。育成牛、妊娠牛への給餌。
- 11:00 ~ 12:00 哺育室の清掃。
- 12:00 ~ 13:00 休憩。
- 13:00 ~ 15:00 関係機関との打ち合わせ。
- 15:00 ~ 18:00 繁殖牛舎で発情牛に人工授精、給餌、畜舎清掃。
- 18:00 ~ 20:00 育成牛舎で子牛への哺乳。育成牛、妊娠牛への給餌。
- 20:00 帰宅。



分娩監視装置。体温の差をセンサーが感知して、千葉さんのスマートフォンにメールが届く

Profile

和牛繁殖牧場「美付ファーム」代表

ちば すすむ
千葉 晋さん

青森県むつ市生まれの43歳。青森県立田名部高等学校、北里大学獣医学産学科を卒業後、製菓会社に就職。MR(医薬情報伝達者)の仕事に就く。福島県で東日本大震災に遭遇し、父が営む繁殖農家の跡を継ぐ決意をする。現在は自ら経営を行う。平成29年青森県の肉用牛共進会では東北農政局長賞を受賞。趣味は、おいしい米と最高級の和牛、そして旨い日本酒をいただくという、日本人として最高の贅沢を味わうこと。むつ市に奥さんと子どもの3人暮らし。

企業名 美付ファーム

- 所在地/青森県むつ市
- 事業内容/和牛(黒毛和種)の繁殖
- 従業員数/2人
- 年間子牛出荷頭数/35頭(母牛54頭を飼養)



生後1か月の牛に哺乳



東北農政局長賞を受賞した牛「だぶる2の1」と千葉さん

畜産で働く!

Work Style VOL.02

牛肉をつくる



夢は下北の素材を生かしたおいしいブランド牛の育成!

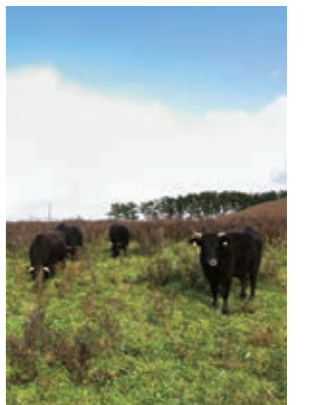
楽しく働き、
楽しく儲ける

下北半島のとっぺん、繁殖農家の仕事に誇りを持って取り組んでいる人がいる。美付ファームの千葉晋さんだ。

「楽しく働き、楽しく儲けるがモットー」と畜産へのこだわりを笑顔で明かす。「楽をするというのはサボることとは違う。どの時期に何をしたいか、楽になりたいか。そのために日々、当たり前のように手を抜かず、ちゃんと働けば、ありがたいことに牛はお金という形で返してくれる。結果的には儲けに繋がります」

すべての牛たちが健康で元気なら、管理する側は毎日気持ちよく楽しく仕事ができる。「咳をしている牛がいたら自分の気持ちも減入るけど、牛たちが元気に走り回っているなら、こっちの気分もいいからね」と本音を語る。

元気に育った牛たちは体重も増え、治療にかかる時間や労力、経費まで削減できる。だからこそ、牛を



病気にさせない、長引かせないことが重要。千葉さんは、その努力を惜しまない。

東日本大震災で被災し故郷での就農を決意

繁殖農家の仕事は、母牛を育てて妊娠させ、生まれた子牛を肥育の素牛として約10か月間育てて、肥育農家に渡すこと。

最も大事なことは牛の観察だ。牛に餌をあげたり、牛床をきれいにしてやることは欠かせない作業だが、牛を毎日よく観察して、病気のサインや発情兆候、分娩の見極めこそが本当に大事な仕事。発情の場合、牛は鳴いたり、運動量が増えてソワソワする。その小さな変化を見逃してはいけない。発情から24時間で人工授精しないと、絶対に子どもは生まれません。

常にポジティブな千葉さんだが、就農のきっかけは、3・11だった。畜産系の大学を卒業したものの「あの頃の自分は『月9ドラマ』みたいにしてスーツを着て働くのがカッコいい」と思っていた。だから、ふるさとについて考えたこともなかった。でも前職の勤務地であった福島県いわき市で東日本大震災に被災した際、結婚していたこともあって、家族や地域の大切さを痛烈に感じた。これから流す汗は、自分を育ててくれた地元のために、父の跡を継ぎ、就農することを決意しました

命が誕生する瞬間に立ち会い成長する姿を見るのは最高!

畜産の仕事に就いて9年、自ら経営を始めて7年。「今でも毎回分娩はドキドキする。和牛の繁殖は命に携わる仕事。優れた子牛が生まれるように交配計画を立て、人工授精で妊娠させ、分娩に立ち会い、生まれた子牛を健康に育て上げる。命が誕生する瞬間に立ち会い、子牛がどんな成長する過程を見るのは最高の気分です」

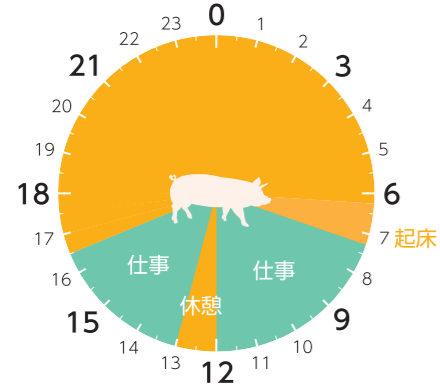
将来の夢は、繁殖と一部の子牛を肥育して肉として出荷すること。「むつ市に繁殖農家はいても、肥育農家がないんです。せっかくだから牛を作っても地域外に出してしまおう。だから、むつ市のブランド牛を作りたい。肉まで作れば、イベントなどでも、むつ市で畜産が行われていることをアピールできる。下北の人に畜産業を認知してもらわなければ、最終的には担い手の対策に繋がっていかないと思うんです」

千葉さんの熱い想いは、地元のオピニオンリーダーとして多方面に影響を与えている。



優しく母豚・子豚を飼育する、
織川恵美さんのある1日のお仕事

- 7:00 起床。
- 7:15 ~ 8:00 自宅から農場へ。
シャワー後、つなぎに着替えて仕事開始。
- 8:00 ~ 9:00 母豚、子豚への給餌。異常豚の見回り。
- 9:00 ~ 12:00 分娩や去勢など。(曜日で異なる)
- 12:00 ~ 13:00 休憩。
- 13:00 ~ 16:30 午前中の続きの作業、片付け・作業報告書の作成など。
- 16:30 帰宅。



生まれたばかりの可愛い子豚



生まれたての子豚が冷えないように専用の粉をまぶして乾燥



Profile

高野沢農場

おりかわ えみ
織川 恵美 さん

青森県十和田市生まれ、23歳。青森県立三本木農業高等学校を卒業と同時に株式会社川賢へ。現在5年目。十和田市と七戸町のサッカーチームに所属。十和田市に家族6人で住む。

谷地頭農場

の다가しら せいご
野田頭 星吾 さん

青森県東北町生まれの29歳。八戸学院野辺地西高等学校を卒業後、株式会社川賢へ。現在、入社11年目。趣味はドライブ。東北町在住。

企業名 株式会社 川賢

- 所在地/青森県三沢市
- 事業内容/養豚の繁殖から肥育まで一貫経営を行う。
このほか飼料販売、養鶏農場も経営。

川賢インジーンファーム(高野沢農場、谷地頭農場)

- 従業員数/36人(技術研究生として、ベトナム人9人)
- 年間出荷頭数/54,000頭(母豚2,000頭を飼育)



子豚へワクチン接種する織川さん



畜産業で働く! Work Style VOL.03

豚肉をつくる



命の大切さを毎日実感!
養豚は素晴らしい仕事です

チームワークを大事に
母豚の助産に全力で挑む

豚肉を生産する養豚業は、大きく分けて、人工授精・分娩と、肥育の2つに区別できる。三沢市に本社がある株式会社川賢で、養豚業の基礎ともいえる人工授精・分娩部門で、助産を主な仕事としているのが、入社5年目の織川恵美さんと11年目の野田頭星吾さんだ。

川村高明社長は「養豚業で最も重要なのは、豚舎に病気を持ち込まないこと。2人は、助産をはじめとするさまざまな作業において、チームワークを重視し、健康な子豚を肥育に渡すため、とても頑張ってくれています」と話す。

豚肉の生産サイクルは、人工授精してから約114日の妊娠期間を経て出産。約20日間の哺乳後約165日間肥育され、肉豚として出荷される。

「母豚の出産は自然分娩で3時間、難産だと倍以上の時間がかかる。1度の分娩で、だいたい15頭の子豚が5分単位で生まれてきます。出産時間が長くなると窒息してしまつ子豚もいるので、10分で出て来なかつたら助産するんです。助けることができたときは、子豚が生きてて本当によかったと思います」と織川さん。

細かくチェックし、タッグ(目標を打つ)という作業も丁寧に行っている。

就職の決め手は
動物が好きという思い!

2人がこの仕事に就いたのは、共通点でもある「動物が好き」というシンプルな思い。

織川さんは犬と猫を飼っていて「祖父が牛の繁殖農家だったので、同じ畜産の道を選べば喜んでくれるかなあと思ってここにこり。」

野田頭さんの家では、現在もラブラドルレトリバーなどの犬2匹とキジを10羽飼っていて、毎日犬の散歩も欠かさない。キツイ仕事と思われがちな仕事だが「可愛い動物と毎日ふれあえるのは楽しいし、仕事に見合った収入も、長く働ける理由だと思つこと素直な気持ちを明かしてくれた。」



育成豚の発情を確認

たくさんの子豚が
元気に生まれるよう頑張る

「ほぼ毎日行う助産のほかに、仕事はいろいろあるんですよ。生まれたての子豚は濡れているから乾かしてあげたり、美味しい肉にするため生後まもなく去勢したり。生まれてきた子豚を20日間ケアするんだけど、子豚は豚舎の温度が暑くても寒くても下痢をしてしまうデリケートな動物。豚舎の適正な温度を保つため、細心の注意を払います」と2人。

養豚の魅力は「普段みんなが食べているものが、どうやって生産されているのか理解できたことは嬉しい。私たちは命をいただいて生きている。命の大切さに気づかされたことが一番かなあ」と織川さん。

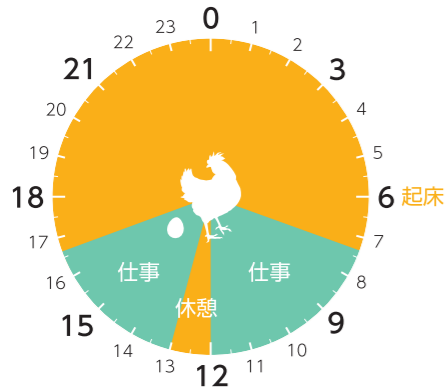
野田頭さんは母豚の顔って、鼻が短かったり長かったり、同じように見えても微妙に違う。初産の豚から何度も生んだ母豚まで、自分が触っても嫌がらないんです。ほんとに可愛いですよ」と少し照れた様子で語った。

現在、2人は後輩の指導も行っており、助産では豚のおなかの中が見えないから教えるのは大変だけど、自分たちが経験したすべてのことを伝えたい」と意欲的。

「そして、とにかく一頭でも多く健康な豚が生まれるよう技術を高めていきたい」と目標を語ってくれた。

安全、安心な卵を作る、 大道さんのある1日のお仕事

- 6:00 起床。
- 7:20 ~ 7:40 自宅から農場へ。着替えて仕事開始。
- 8:00 ~ 11:00 鶏舎内の清掃、飼育状況の確認。
- 11:00 ~ 12:00 機械設備の整備。
- 12:00 ~ 13:00 休憩。
- 13:00 ~ 15:00 機械設備の整備。
- 15:00 ~ 15:40 当日の生産、飼養データ収集、記録。
- 15:40 ~ 16:10 翌日の作業準備。
- 16:10 ~ 16:30 飼育状況の確認。
- 16:40 帰宅。



鶏舎内部。生みたての卵はオートメーションで集卵されている



きれいな鶏は、行き届いた衛生管理の証



集卵から包装まで、フルオートメーションで卵の鮮度を維持



「自分が食べたいなって思うものを、手作りするって楽しいですよ」。常に真摯な姿勢で仕事に向かい、全力で子育てに励む。家族を愛する大道さんが大切に育てている鶏からとれる卵は、とってもやさしい味でした。

Profile

東平農場 農場長

だいどう たくみ
大道 拓巳 さん

岩手県洋野町出身、36歳。地元の高校を卒業後、エネルギー関連会社で機械のメンテナンスの仕事に就く。結婚後も遠方への長期出張が多いことから地元企業への転職を考え、食の生産にかかわる職業を選択。10年前(株)オリエンタルファームに入社。5年前から東平農場長。趣味は海釣り、子どもと料理作り。階上町で、妻と子ども2人の4人暮らし。

企業名 株式会社 オリエンタルファーム

- 所在地／青森県八戸市
- 事業内容／鶏卵の生産と販売
- 従業員数／86人
- 飼養羽数／3農場で130万羽

鶏の健康状態を入念にチェックする大道農場長



充実したプライベートが 明日への活力を育む！

常に鶏舎内で働く大道さんだが、なぜか真っ黒に日焼けしている。それは海釣りを趣味としているから。「養鶏は、キツイ、汚いというイメージを持つ人がいるかも知れませんが、生き物が好きならば大丈夫です。ペット以上に生き物の声を聞くのがこの仕事、正直言っておもしろい。無駄な残業をさせないのも社風で、管理職でも4時半に帰れるから、仕事が終わってからの釣りに行けるんですよ」と笑顔になる。

休日には、自社でとれた卵で、茶碗蒸しからクッキーまで子どもと一緒に作り、ゆるい時間を過ごす。

「自分が食べたいなって思うものを、手作りするって楽しいですよ」。

常に真摯な姿勢で仕事に向かい、

全力で子育てに励む。家族を愛する

大道さんが大切に育てている鶏か

らとれる卵は、とってもやさしい味

でした。

畜産で働く！ Work Style VOL.04

卵をつくる



みんなに自慢できる

安全、安心な「おいしい卵」を作る！

食の生産に関わる
仕事に就きたい！

「子どもに自慢できるんですよ。お父さんが育てた鶏からとれる卵は、新鮮でおいしくて安全だから、一緒に料理を作って食べようって」そう笑顔で話すのは、大道拓巳さん。採卵養鶏を行う(株)オリエンタルファーム東平農場の農場長だ。言葉通り清潔な施設ではきれいな鶏が1日約1個、真っ白な卵を元気に生んでいた。

大道さんが採卵養鶏の道を志したのは20代。地元の高校を卒業し、エネルギー関連の会社に就職してからだ。「仕事は、国内なら九州、静岡。海外なら中国と長期出張が多かった。結婚したので地元で落ち着きたい、食べ物がおいしく友だちも多い県南での転職を模索しました」と明かす。

父も兄も養鶏の仕事に携わっており、子どもの頃から慣れ親しんだ、食の生産に関わる仕事への憧れは次第に高まっていく。そして「生涯に渡り安定した職に就きたい」とオリエンタルファームを選択。社員募集するまで時を待ったというから、会社愛が半端ない。

鶏の健康を第一に
些細なサインも見逃さない

採卵養鶏は、徹底した衛生管理のもと、成熟した鶏に、トウモロコシ等の穀物を中心に、ビタミンや腸内環境を整える菌を加えた配合飼料を与えて育てる。オリエンタルファームでは3農場で130万羽を飼育し、1農場を5人で管理。1日約1個、生まれた卵はベルトコンベアで運ばれ、フルオートメーションで、洗浄、殺菌、検査、包装などを経て、私たちの食卓に届く。

大道さんの仕事は、鶏舎内を衛生的に管理するのはもちろん、鶏の飲水量の極端な増減はないか、餌を食べる量に変化はないか、卵とは別のベルトコンベアで運ばれている糞の匂いは大丈夫かなど、常に細心の注意を払う。

「飲水量など、少しの変化に早く気づけば、病気も未然に防ぐことができる。鶏の変化を見逃さず改善できたときに、やりがいを感じますね」ほかに、衛生環境整備として野鳥が入らないよう防護柵・防護網のチェックや、オートメーション機械も整備する。「作業員が元気に農場に来て元気に帰ってもらえるよう、怪我に繋がるものは何ひとつ鶏舎に置かないんです」

無駄な作業を減らし、作業効率の向上に努めることで、時間に余裕ができる。それは、やがて仕事のスキルアップに繋がっていく。

生産者と力を合わせて健康な鶏に！
岡本尚子さんのある1日のお仕事

- 6:30 起床。
- 8:10 ~ 8:30 自宅から農場事務所へ。ミーティング、事務所清掃。
- 8:30 ~ 9:30 農場の飼育状況(死亡羽数、体重の推移等)の確認。書類作成など。
- 9:30 ~ 12:00 農場巡回。生産者と話しながら飼育状況や工事状況の現場確認、帳票類確認。
- 12:00 ~ 13:00 休憩。
- 13:00 ~ 16:00 農場巡回。
- 16:00 ~ 17:00 事務所にて書類作成など。担当者間で農場飼育状況の共有。
- 18:00 帰宅。



鶏の様子を確認する水島さん



鶏の健康管理について、生産者、農場担当者、獣医師が懇談

Profile

生産部 CS 管理室青森農場

おかもと なおこ
岡本 尚子 さん

埼玉県出身、27歳。東京海洋大学を卒業後、青森県青森市浅虫にある東北大学大学院浅虫海洋生物学教育研究センターへ。青森の自然に魅せられ、青森に住みたいと、卒業と同時にプライフーズ株式会社へ入社。半年間の研修を経て、おいらせ町にある青森農場で、鶏の飼育管理を行っている。八戸市在住。

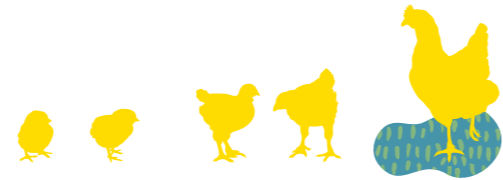
獣医師

みずしま りょう
水島 亮 さん

新潟県出身、34歳。北里大学を卒業後、「獣医師として現場で働きたい」とプライフーズ株式会社へ入社。ブロイラー事業の生産部門で、専属の獣医師として働いている。八戸市に、妻と子どもの3人暮らし。

企業名 プライフーズ株式会社

- 所在地/青森県八戸市
- 事業内容/ブロイラー事業として、ブロイラーの生産・処理・加工食品の製造、販売。飼料原料・肥料の製造販売。このほか、ハイポー(豚肉)事業、食鳥処理機械事業を行う。
- 従業員数/3,527人 ■ 年間出荷羽数(出荷量)/3,300万羽



最も大切なのは、
コミュニケーション！

「一番大切なのは、生産者と農場担当、そして獣医師によるコミュニケーション」と異口同音に話す2人。
「生産者の方々の信頼関係を一番大事にしています。品質維持や飼育の成績向上には生産者の協力が不可欠なので、まずは生産者とよく話し、意見交換することを心がけています。ブロイラーの飼育は、うまくいくことばかりではない。鶏が死んでしまったり、大きく育たなかったときは、どこに問題があったのか、どうすれば良かったと思うのかを生産者と振り返り、相談し合いながら、生産者がいい方法を見つけるきっかけを作りたい」と打ち明ける岡本さん。



健康な雛が誕生！

水島さんも「現場の生産者と農場担当者に解剖の結果を公表します。そして鶏舎の気温や換気は足りているかなど率直に意見を交換。飼育の過程で、どの時期に何をすればいいか話し合うことが最も大切だと思います」
スーパーなどで自社製品を見かけたとき、思わず買ってしまおうという岡本さん。「私たちの仕事が、日常生活を当たり前に支えていることにやりがいを感じます。自然と生き物が相手なので思い通りにいかないことも多いけど、うまくいったときの達成感はこの仕事の最大の魅力です」
水島さんは「畜産物、特に肉は、人間が好きな物の一つ。実際に鶏を飼育している現場は非常に重要で、五感を使って日々の変化に気を配っています。1日として同じ日がないのが畜産現場の素晴らしさ。何か異常があったときに鶏を調べて原因を究明し、次に役立てられたとき、やりがいを感じます」
マラソンが共通の趣味という2人。更なる品質向上に、切磋琢磨する姿がたくましかった。

生産者、農場担当者、獣医師が、
心をひとつに、健康な鶏を育てる！

個々の仕事に責任を持ち
元気な鶏の飼育を支援！

ヘルシーな食肉として人気の高いチキン。では、私たちが普段食べている鶏肉は、どうやって作られているかご存知だろうか。
ブロイラーと呼ばれる食肉用の鶏は、はじめに種鶏を育て、健康をチェックしながら卵を生ませる。その卵から生まれた雛は徹底した衛生管理のもと約50日間飼育され、処理、加工を経て店頭に並び、私たちの食卓に届く。

青森県内で、ブロイラーの一貫生産を行っているプライフーズ株式会社で、岡本尚子さんは農家が育てている鶏の飼育状況の管理、水島亮さんは獣医師として鶏の病気の予防に力を注いでいる。
青森県内に直営・委託合わせて29農場を所有するプライフーズ。委

託農場では、会社が整備した鶏舎で農家の方々が鶏を大事に育てている。
「私の具体的な仕事は、ブロイラー部門の委託農場担当者として、県内にある9つの農場を巡回。鶏が、どうしたら大きく健康に育つか、生産者と情報を共有しながら農場での飼育状況を確認しています。また鶏舎の修繕や、機材購入の手配なども行います」と岡本さん。

一方、獣医師の水島さんは、農場をまわり、死亡した鶏の原因を究明するための解剖や、ワクチンプログラムが適正かどうか、鶏の定期的な採血や検査で確認。「もっと生産性を高め、おいしいブロイラーが育つよう指導しています」と話す。



鶏舎環境を確認する岡本さん

畜産業で働く！

Work Style VOL.05

鶏肉をつくる

畜産で働くまでのステップ

畜産を職業とするには、さまざまな方法があります。ここでは、代表的なステップを紹介します。

1 知る

本やインターネットで情報を収集したり、就農・就職した先輩や地域の経営者の話を聞いて、畜産で働くイメージを持つ。



3 学ぶ

青森県営農大学校や大学に進学し、農業技術や経営を学んだり、農業法人などで研修を受ける。
※すぐに就農・就職する場合もあり



2 体験する

インターンシップ等を活用して畜産を体験



4 準備する

就農イベントへの参加 や 農業法人の求人情報を 収集したり、企業が実施する説明会 に参加する。



- 就農計画を立てる。
- 農地や牛舎、機械など経営を開始するために必要なものを準備する。

5 就農・就職する

就農

農業法人に就職
(独立する場合もある)

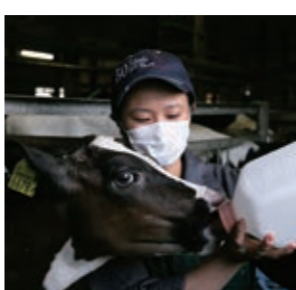
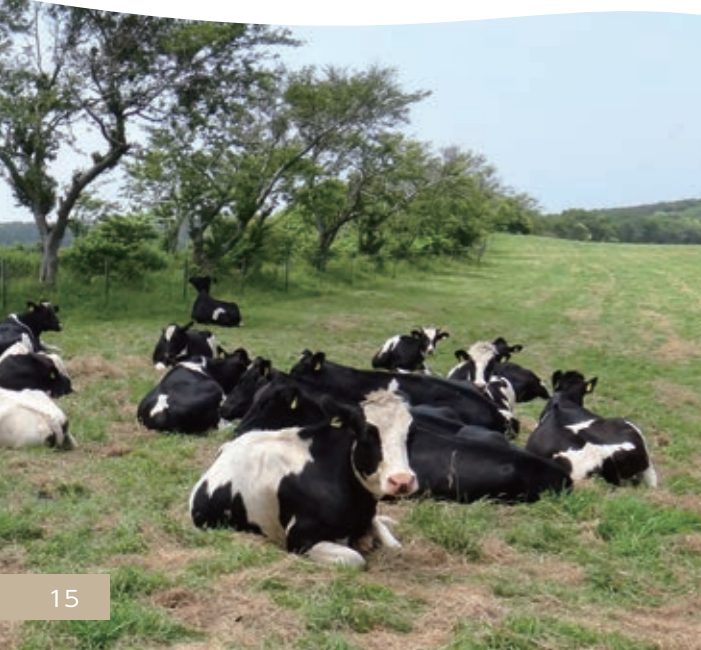
畜産 Q&A

Q1 どんな人が向いている？
A1 動物を育てる仕事となるので、動物に対して真摯に向き合える人。

Q2 始める前に専門的な知識が必要？
A2 独立して自身で経営する場合、畜産に関する知識の習得は必要です。例えば、県内にある営農大学校等では、家畜の飼養管理や堆肥処理方法など、畜産の基本的な知識を身につけることができます。
一方、農業法人へ就職する場合、就職後に研修等で上司や先輩から教えてもらいながら仕事を覚えていくため、必ずしも農業高校出身でなくても、また、他産業からの転職などでも働くことは可能です。

Q3 休みはある？
A3 生きている動物と接する仕事なので、毎日給餌等は必要となりますが、酪農をはじめとして、搾乳や給餌等を代わりにしてくれるヘルパー制度を活用し、休日に買い物をしたり、家族で旅行などをして、仕事と休みを両立している人もいます。
また、農業法人、特に大規模の経営体においては、雇用条件の整備や福利厚生が充実している所が多く、ワークライフバランスに取り組みやすい環境となっています。

Q4 力仕事のイメージがあるけど、女性でも大丈夫？
A4 一般的にこれまでの畜産では、除糞や給餌作業など、体力が必要な場面もありましたが、単純労働の機械化・効率化を図っている経営体が増えており、実際に本冊子で紹介した坂田さんや織川さん、岡本さんなど畜産で活躍している女性は多くいます。



Work Style
■ ■ ■ ■ ■